



2020年 9月3日  
第 24 号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 横地申 第36号

### 「自然災害時における『安全第一』の鉄道輸送の確保に向けて」 に関する申し入れ①

8月25日交渉

#### 第1項 横浜支社内の車両センター及び車両留置箇所の水害対策を具体的に示すこと。

会社回答：浸水被害が想定される場合は、対策本部等の指示で車両疎開を行うこととなる。

##### 《組合》

- ①対策本部は支社の対策本部で良いのか？
- ②浸水被害が想定されている箇所は具体的にどこか？
- ③どの場面で車両疎開をするのか？
- ④車両の疎開先はどこを考えているのか？
- ⑤武蔵小杉駅の水害対策は具体的に何をしているのか？
- ⑥ゲリラ豪雨による改札等の浸水被害対策もピックアップしているのか？
- ⑦車両センターの検修施設の水害対策等何か考えているのか？
- ⑧被害のなかった他箇所の施設を利用する計画等はあるのか？

##### 《会社》

- ①支社の対策本部である。
- ②50 cm以上の浸水の想定はハザードマップを参考にしている。車両を夜中に留置している箇所で具体的には、鎌倉車両センター中原支所、国府津車両センター、鎌倉車両センター、久里浜駅、大船駅及び大船駅南部留置線、小机駅、宿河原駅、登戸駅、町田駅、中山駅。
- ③計画運休の段階での車両疎開も視野に、台風の進路や被害想定等によって変わる。その時の状況を見て判断する。
- ④車両疎開は踏切等の支障しない駅又は駅の電留線を考えている。
- ⑤ESC や EV の止水板の工事。自動改札機の予備購入。電力設備の浸水対策として、電源車の配備する予定。津波や浸水が想定している所をピックアップした対策を考えている。
- ⑥ゲリラ豪雨に対しても対応できるように考えているが現在はまだ検討中でもう少し時間を頂きたい。
- ⑦車両センターの水害対策は、ハード面の対策はかなりのお金がかかるので、現段階では改善できるものはない。
- ⑧まだ、そこまでの議論になっていない。まだ、検討している段階。

#### 第2項 「計画運休」に至るまでの手順を明らかにすること。なお、「計画運休」を実施する場合は、社員に周知した後、お客さまへ情報提供すること。

会社回答：大規模な風雨災害や雪害が想定される場合に、対策本部等において決定することとなる。なお、決定次第速やかに社員やお客さまに対する情報配信を実施している。

##### 《組合》

- ①計画運休をしてきた成果と課題は？
- ②対策本部は、横浜支社ということか？
- ③計画運休に至るまでの経緯が分かりにくい。どういう経緯で決定するのか？
- ④計画運休が決定した後、社員への周知方法を教えて欲しい。
- ⑤計画運休のお客さまへの周知方法を教えて欲しい。

##### 《会社》

- ①地域の皆様に多大なるご迷惑をかける。なるべくなら計画運休しないようにしたい。お客さまからのご意見や課題があれば、その都度見直していきたい。
- ②支社であるが、こういう時は広範囲に及ぶので合同対策本部になる事が多い。
- ③気象予報で首都圏の広範囲に被害が想定される時に計画運休を行う。その線区だけが大丈夫な場合でも、お客さまの滞留等のリスクを考慮して全体での運休を想定している。
- ④対策本部の情報をポータルサイト等で情報共有していたが、現場の社員まで届いていない事は課題があったと認識している。旅客一斉情報や異常時共有等検討している。社員一人ひとりに情報が届くように考えている。
- ⑤ホームページ、JR 東日本アプリ、プレス発表、ニュースで取り上げてもらう。まずは前々日に計画運休の可能性のあることをお知らせ、何時頃に計画運休するという流れ。前日にはより具体的なもの。最後に線区毎に最終電車のアナウンスを考えている。

#### 第3項 避難勧告等が出された地域に住居及び勤務している社員の取扱いを明らかにすること。

会社回答：状況に応じて対応することとなる。

##### 《組合》

- ①避難勧告等が出されている地域の家にいる社員に、出勤を命じる事があるのか？
- ②既に避難している場合はどうするのか？

##### 《会社》

- ①出勤日ならば出勤時間に間に合うように出勤してもらおう。その時々状況に応じて会社が判断する。
- ②出勤できない状況ならば、その時に判断する。安否確認システムを活用して社員の安否、家族の安否を確認し、出勤なのか休日なのか確認していく。

②に続く